

中部国際空港（セントレア）にて 学生による空港利用者調査を実施

中部国際空港株式会社と日本福祉大学が連携

94名の学生が参加
2500件をこえる
対面調査票を回収

2月17日に開港した中部国際空港を訪れる旅行者や見学者に対して、空港会社と本学が連携し、利用者調査を3月11日、12日の2日間にわたり実施しました。

調査には経済学部の丸山優教授の「観光の伝統と革新プロジェクト」が中心となって、本学の学生94名が参加し、目標の2000件をこえる2500件の調査票を回収しました。

調査は、今回を皮切りに3年間にわたって継続して行い、調査結果を空港の地元にある大学として、空港運営や地域づくりに役立てていきます。



中部国際空港会社から説明を受けている学生たち

裏表紙にも、学生たちの活動風景およびエピソードなど載せています。



2005年2月17日に開港した中部国際空港（写真提供：中部国際空港株式会社）

空港調査の概要 >>>>> P2のインタビュー「観光の伝統と革新プロジェクト」で紹介しています。

Contents

中部国際空港にて学生たちが空港調査を実施	1	活動紹介：蔵の街プロジェクトアンケート調査	5
事例紹介1：観光の伝統と革新プロジェクト	2	現代GP参加学生の声	5
事例紹介2：地域生涯学習プロジェクト	3	活動紹介：空港調査風景およびエピソード	8
事例紹介3：産業観光プロジェクト	4	ご案内：2005年度の本プログラムの運営体制	8